

会 議 録

会議の名称	平成28年度第1回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会
開催日時	平成28年 8月26日(金) 午後 3時00分から 午後 5時00分まで
開催場所	本庄市役所 6階大会議室
出席者	(委員) 岩崎 信裕委員、山口 康裕委員、明堂 純子委員 田邊 晶子委員、卜部 由美子委員、荒木 君代委員 町田 桑子委員、山田 英希委員、橋本 和也委員、 富沢 峰雄委員、小賀野 昇委員、稲継 裕昭委員、 片山 利明委員(代理)、久米 敦委員、広瀬 幸男委員、 若林 圭委員、尾形 洋行委員(代理)、戸谷 清一委員 (事務局) 今井企画財政部長、阪上総務部長、市川市民生活部長、 駒沢福祉部長、春山保健部長、小林経済環境部長、 出牛都市整備部長、稲田教育委員会事務局長、 大屋議会事務局長、高橋上下水道部長 企画課：山下部企画財政部次長兼企画課長、小島課長補佐 堀越主査
欠席者	清水 義雄委員、戸谷 正夫委員、高橋 博志委員、江原 貞治委員、 反町 裕一委員、石川 勉委員
議題 (次第)	(1) 総合戦略の効果検証について (2) 地方創生先行型交付金事業の評価について (3) 意見交換
配付資料	○事前配布資料 ・資料1：総合戦略評価シート ・本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ・本庄市人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版) ・懇談会名簿 ○当日配布資料 ・参考資料1 総合戦略の効果検証について ・参考資料2 懇談会設置要綱 ・その他(各種パンフレット等)
その他特記事項	
主管課	企画財政部企画課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
1. 開 会	
事務局	<p>本日は、皆様にはお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日、司会を務めさせていただきます、企画財政部次長の山下部と申します。</p> <p>本日、5名の方から欠席のご連絡をいただいておりますのでご報告いたします。また、数名の方から遅れるとの連絡もいただいておりますが、時間の都合もありますので、始めさせていただきます。</p> <p>まず、懇談会は原則として公開とさせていただきます。また、懇談会の傍聴につきまして、申し入れを受ける形で進めさせていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。なお、本日は傍聴者がおりませんので、ご報告いたします。</p> <p>また、本懇談会の議事録につきましては、発言者の氏名を全て委員表記としてホームページに公開させていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p> <p>それでは、次第に基づきまして、平成28年度第1回本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会を始めさせていただきます。</p>
2. 委嘱状交付	
事務局	<p>吉田市長より、委嘱状の交付を行いたいと思います。</p> <p>(本庄市長より、各委員に対し委嘱状の交付)</p>
3. あいさつ	
市長	<p>本日は、お忙しいところ平成28年度第1回まち・ひと・しごと創生懇談会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。委員の皆様の中には、昨年度の総合戦略の策定にあたり、懇談会の委員としてご尽力いただいた方もいらっしゃいます。おかげさまをもちまして平成27年度中に総合戦略が策定され、それに基づいたまちづくりを進めていくことになりました。この総合戦略では、人口減少社会の中で、人口の社会増に取り組むとともに、最終的には若い人が安心して結婚し、子どもを産み育てられる次世代につながる社会づくりを実現するため、様々な施策を実施することで総合戦略が実りあるものになります。この総合戦略を確実に進めていくには、実施した事業の検証作業つまりPDCAサイクルを確立することが大事でございます。そこで、様々な分野の皆様にご意見をいただくため今般懇談会を立ち上げることとなりました。</p> <p>総合戦略の効果検証に当たっては既に実施しました地方創生先行型交付金事業がございましたが、本日はこの事業についてご意見をいただくとともに、今後のまちづくりについても、ご意見等いただければとおもいますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>(市長は所用によりここで退席)</p>

4. 自己紹介	
各委員、事務局の順に自己紹介	
5. 座長の互選	
事務局	本庄市まち・ひと・しごと創生懇談会設置要綱の規定に基づき、座長の選出を行います。どなたかご意見のある方はいらっしゃいますか。
委員	事務局として案はありますか。
事務局	事務局としては、行政学、地方自治論、行政組織論、人事行政学がご専門で政府委員を歴任されておられます、早稲田大学政治経済学術院の稲継教授に座長をお引き受けいただければと考えております。委員の皆様いかがでしょうか。
委員	異議なし。
事務局	それでは、稲継教授に座長をお願いしたいと思います。
6. 議事	
(1) 総合戦略の効果検証について	
(参考資料1 総合戦略の効果検証について 事務局より説明)	
事務局	今回は、地方創生先行型交付金事業の効果検証を行います。来年度以降は総合戦略に記載された全事業の効果検証を行っていきます。
(2) 地方創生先行型交付金事業の評価について	
(資料1 総合戦略評価シートについて 事務局より説明)	
座長	①旧本庄商業銀行煉瓦倉庫の活用とご質問・意見のある方はいますか。
委員	観光入込客数の目標値は何を根拠に設定しているのか。また、目標値を低く設定すれば簡単に達成できてしまうのではないか。
企画財政部長	観光入込客数の目標値は現状を維持していくことで設定していますが、煉瓦倉庫のKPIについては、来年の開館に合わせて来館者数にするなど変更予定です。また、目標値の達成が早く見込まれる場合は、達成年度を繰り上げることも考えていく必要があると思います。
座長	②観光対策事業についてご質問・意見のある方はいますか。
委員	観光入込客数はどのように把握しているのか。また、市内と市外で分けられているのか。
経済環境部長	イベント、祭り、施設来館者数、ゴルフ場利用者数などの述べ人数を毎月把握し、県にも報告しています。観光入込客数の市内と市外の区別はできません。
委員	観光情報誌は外国人観光客もターゲットとしているのか。外国人向けの表記も必要になっているのではないか。
経済環境部長	現在は外国人向けにはなっていませんが、そのあたりが課題であることは認識しています。
委員	観光に対してはPRが不足しており、宣伝の仕方がより重要になってくると思う。本市に訪れた人に対して飲食店・トイレ・駐車場マップを提供するな

	ど、受け入れ態勢にも力を入れてほしい。
経済環境部長	PRについては、観光協会のホームページのリニューアルなど、情報発信をしっかりとやっていきたい。受け入れ態勢が弱いことについては、商工団体とも協力して今後内容を充実していけばいいと考えています。
座長	③街バル事業についてご意見・質問のある方はいますか。
委員	KPIの目標値が参加店舗数となっているが、それ以外の数値を押さえていないのか。交流人口の増加につながっている根拠はあるのか。
経済環境部長	チケット販売数(1,074枚)や売上実績については報告を受けていますが、詳細については把握できないところがあります。
委員	チケットの売り上げと参加店舗の売り上げの報告だけで、交流人口として外部からどれくらい人が来たのか把握していないのであれば、何をもって地域活性化につながったといえるのか。
経済環境部長	参加店でのアンケート結果から、「いろいろなお店に行けた」、「知名度が上がった」など、利用者・参加店とも概ね好評をいただいております。地域活性化につながったと認識しています。
座長	④すくすくメール配信事業についてご意見・質問のある方はいますか。
委員	対象と登録者数の目標値1000人の設定根拠を教えてください。
福祉部長	3歳に達するまでが対象となっていて、年間出生数約500～600の3年分を母数として目標値を設定しました。
委員	対象規模に対し目標値が低いような気がする。どのように周知しているのか。
福祉部長	できれば全ての人に登録してほしいが、中には必要としない方もいます。目標値は年度ごとに徐々にあげています。
企画財政部長	総合戦略では平成31年度の目標値を設定しているが、効果検証にあたって、年次ごとの目標値を設定しております。また、早期に達成したものについては、目標値を修正することもできます。
保健部長	健康推進課においても、新生児全戸訪問や健診など機会がある度に登録を勧めています。
委員	予防接種のスケジュール管理などでき、非常にいい制度だと思うので、ぜひ保育園や子育て支援団体などにも制度の周知をはかっていただければ、私たちも協力する。
福祉部長	利用者アンケートでは「イベント情報も欲しい」などの要望もあり、よりよい情報提供を行っていきます。制度の内容については登録しなくても、ホームページで確認していただけます。
委員	子育て専門の広報を発行するなど、子育て支援に特化した情報発信も重要ではないか。
企画財政部長	子育て支援の情報については、広報・ホームページ以外に今年全戸配布しました市政ガイド中で部門別にまとめて掲載してあるので、活用していただきたいと思います。

委員	市外の方は、必要な情報は市ホームページを見てくるので、子育てのページを作成するなどホームページを充実していただきたい。
座長	⑤多子世帯支援事業についてご意見・質問のある方はいますか。
委員	いい制度で大変ありがたいのですが、幼稚園では保育料を先に支払い、後で戻ってくるのですが、先払いではなく初めから払わなくていい形にできないでしょうか。また、幼稚園の延長保育も保育園と同じ基準にすることは可能でしょうか。
教育委員会事務局 局長	現状の制度の中では対応は難しい状況ですが、ご意見を受けまして今後検討とさせていただきます。
委員	保育園と幼稚園の垣根が少なくなってきている。
委員	幼稚園でも延長保育を行っているところも多くなってきていて、子育てということで幼稚園と保育園の一元化が必要な時期に来ていると感じている。
座長	幼保一元化は国家レベルの話となるので市の判断では難しいと思います。
委員	効果に対しての評価理由は、「経済的負担の軽減された」ではなく、第3子がどれだけ増えたかになると思うのですが。
教育委員会事務局 局長	第3子以降の割合の実績が9月頃公表になるため、今回は保護者の声を根拠にしました。
福祉部長	別の指標の「保育園・幼稚園に通う第3子以降の子どもがいる世帯数」も本事業の効果とは一概にいえませんが、増えております。
委員	私立保育園では0歳児、1歳児の入所が毎年80名位ずつ増えており、この制度の効果がでているのではと感じています。それに伴って、保育園として受け入れが難しくなっています。
(3) 意見交換について	
座長	時間の都合がありますので、今まで発言されてない方でご意見・ご質問のある方はいますか。
委員	それぞれの事業を対費用効果でみると、一人あたりの事業費がかなりかかっているものもある。経済支援策は市民にとってはありがたいものだが、この先にどう生きてくのか慎重に見極める必要がある。事業評価については、大きく達成となっているが、自己満足に陥ることなく、市外から注目されるような施策に繋げてほしい。
委員	P D C Aサイクルの中でAの部分が一番大事だと思う。必要性についての評価が「現状維持」になっているが、現状に満足せずにもっとこうすればもっとよくなることを念頭に事業を進めていけば、目標値を上げることもつながると思う。
委員	観光入込客数では評価の指標が曖昧な気がするので、もう少し明確な指標を立てるべきではないか。
委員	第3子無償化については、長い目でみて出生率向上に効果があると思われるので、子どもたちの将来を見据えて事業を進めていただきたい。

座長	この総合戦略を進めるにあたっては、ぜひ皆さんが連携を取っていただきたい。紙媒体では、欲しい人に欲しい情報を欲しい時にどう伝えるかが大事である。情報発信については、ホームページを充実させるとともに、自治体においてもSNSを活用する時期にきている。交流人口を増やすために役所でできることは限られているので、いろいろ勘案していただきたい。この懇談会では評価検証が主な役割となっているが、それを踏まえて次のアクションの提言をいただければと思います。
6. その他	
事務局	次回の懇談会は、来年の7月～8月頃を予定しています。
7. 閉 会	
企画財政部長	長時間にわたり貴重なご意見をいただきありがとうございました。昨年度に引き続きに活発に議論いただけたと思います。いただいた意見を踏まえまして本市の地方創生を進めて参ります。以上をもちまして、第1回懇談会を閉会いたします。